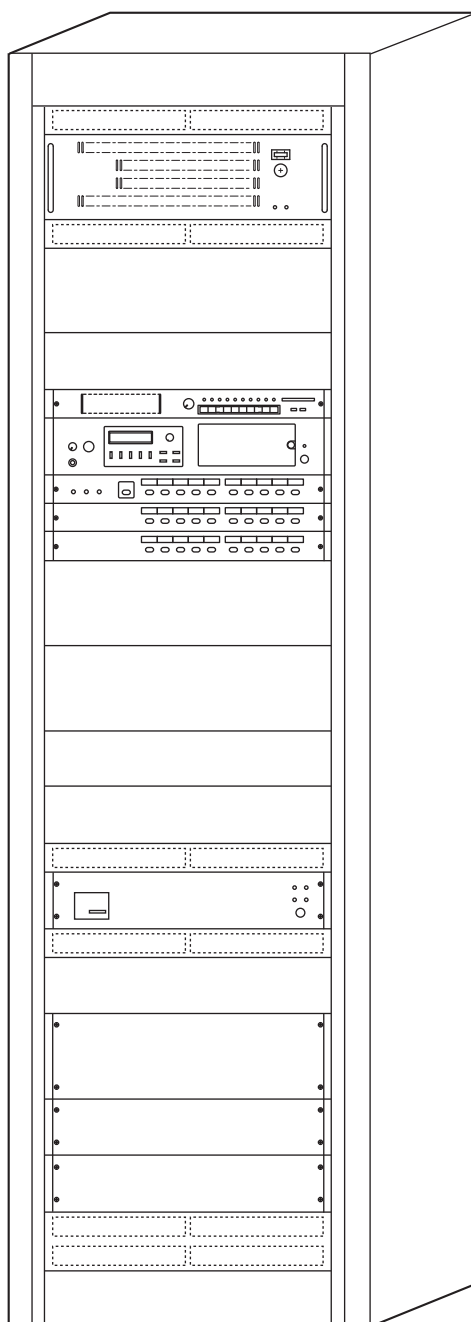


キャビネットラック型業務用放送設備

Rシリーズ



R41-3630RD 型

このたびは、TOA キャビネットラック型業務用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このキャビネットラック型業務用放送設備は、ご要望に応じて必要な機能を備えられるように、パネルユニット式になっています。

この取扱説明書は、各種機能を備えた標準セットを基準として作成しておりますので、設置された設備と異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

目 次

安全上のご注意	3
ニカド電池のリサイクルについて	4
使用上のご注意	4
保守契約のおすすめ	4
業務放送について	
本体個別放送	5
本体一斉放送	5
本体グループ放送	5
タイマー一斉放送	5
リモコン／予備・個別放送	6
リモコン／予備・一斉放送	6
リモコン／予備・グループ放送	6
外観図	
R27-1220RD 型	7
R41-3630RD 型	8
各部の名称とはたらき	
プリアンプパネル PP-025C	9
ラジオチューナーユニット DT-230（別売品）	10
スピーカーセレクトパネル SS-014/015	11
モニターパネル MP-011	12
パワーアンプパネル PA-620/1220/2430/3630	13
デジタルパワーアンプパネル DA-1210D/2410/4820	14
非常電源パネル DS-029	15
業務放送のしかた	
マイクロホンによる案内放送	16
ラジオ放送のしかた（別売の DT-230 組み込み時のみ）	18
受信周波数のメモリーのしかた	20
日常点検のしかた	
非常電源パネル DS-029 による電源電圧の確認	20
ニカド電池の交換について	21
設定内容記録表	22

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 	
分解禁止 禁 止	強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源ブレーカーを遮断して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



強 制

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁 止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁 止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上や周囲に物を置かない

落下したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因
となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

ニカド電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあり
ます。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (＋)と(－)に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

ニカド電池のリサイクルについて



ニカド電池のリサイクルにご協力ください

本機にはニカド電池を使用しています。

ニカド電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

ニカド電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、
リサイクルへご協力ください。

使用済みのニカド電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却し
てください。

使用上のご注意

- 取り付け工事は販売店におまかせください。
本機の移動や別売ユニットの工事は販売店にお申しつけください。
- 汚れは柔らかい布で軽くふいてください。
シンナーやベンジン、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色することがあります。

保守契約のおすすめ

- 放送設備を常に最良の状態でご使用いただくために、本機の定期的な点検をおすすめします。自ら点検で
きないお客様に代わって専門技術者が契約によって定期点検を行います。
- 保守契約は、設置時に納入業者にお申し付けください。すでに設置済みであるにもかかわらず契約されて
いないお客様はお急ぎください。
- 保守契約料金は設備とは別に計上してください。

業務放送について

この放送設備では、次のような業務放送をすることができます。

■ 本体個別放送

スピーカー回線（放送場所）別に放送します。

スピーカーセレクトパネル SS-014 および SS-015 のスピーカー選択スイッチを押して放送します。

■ 本体一斉放送

すべてのスピーカー回線（放送場所）に放送します。

スピーカーセレクトパネル SS-014 の一斉放送スイッチを押して放送します。

- メ モ 本体一斉放送には、通常一斉放送と緊急一斉放送があります。
- 緊急一斉放送に設定すると、スピーカーの音量調節器の設定に関係なく、一定音量で放送できます。
- 設定は、スピーカーセレクトパネル SS-014 内の切換スイッチで行います。
- 設定のしかたは、別冊の工事説明書をお読みください。

■ 本体グループ放送

複数のスピーカー回線（放送場所）をグループごとにまとめて同時に放送できます。（最大 10 グループ）

例えば、「お客様」や「従業員」などを系統別にそれぞれのグループに設定しておけば、ワンタッチで必要な場所に放送できます。

- ご注意 グループ放送を行うには、スピーカーセレクトパネル SS-014 にダイオードマトリックスボードキット DB-014（別売品）を組み込んで、SS-014 のスピーカー選択スイッチをグループスイッチに設定してください。
- 詳しくは、DB-014 に付属の組立説明書および別冊の工事説明書をお読みください。

● 放送のしかた

- ・グループ放送をするとき : 設定した SS-014 のグループスイッチを押して放送します。
- ・グループ放送を終了するとき : 同じグループスイッチをもう一度押します。
- ・複数のグループに同じ放送をするとき : 放送したい場所のグループスイッチをすべて押して放送します。
- ・グループ放送に放送場所を追加するとき : グループスイッチを押した後、追加したい個別放送のスピーカー選択スイッチを押して放送します。

■ タイマー一斉放送

メロディクスや音声ファイルなどの機器を接続し、タイマーで起動させて自動的にすべてのスピーカー回線に放送します。

- メ モ タイマー一斉放送には、通常一斉放送と緊急一斉放送があります。
- 緊急一斉放送に設定すると、スピーカーの音量調節器の設定に関係なく、一定音量で放送できます。
- 設定は、ジャンクションパネル JP-034 内の切換スイッチで行います。
- 設定のしかたは、別冊の工事説明書をお読みください。

■ リモコン／予備・個別放送

本機に接続されている業務用リモートマイク（RM-1100、RM-200F）や、外部予備制御機器からの放送です。スピーカー回線（放送場所）別に放送します。

業務用リモートマイク RM-1100 および RM-200F の操作方法については、各機器に付属の取扱説明書をお読みください。

■ リモコン／予備・一斉放送

本機に接続されている業務用リモートマイク（RM-1100、RM-200F）や、外部予備制御機器からの放送です。すべてのスピーカー回線（放送場所）に一斉放送します。

メ モ リモコン／予備一斉放送には、通常一斉放送と緊急一斉放送があります。

緊急一斉放送に設定すると、スピーカーの音量調節器の設定に関係なく、一定音量で放送できます。設定は、RM-1100 および外部予備制御機器の場合はジャンクションパネル JP-034 内の切換スイッチで、RM-200F の場合はリモートマイクインターフェースパネル RF-012 内の切換スイッチで行います。設定のしかたは、別冊の工事説明書をお読みください。

■ リモコン／予備・グループ放送

本機に接続されている業務用リモートマイク（RM-1100、RM-200F）や、外部予備制御機器からの放送です。設定されたグループに放送できます。

RM-1100 および外部予備制御機器は最大 10 グループまで、RM-200F は最大 20 グループまで設定できます。

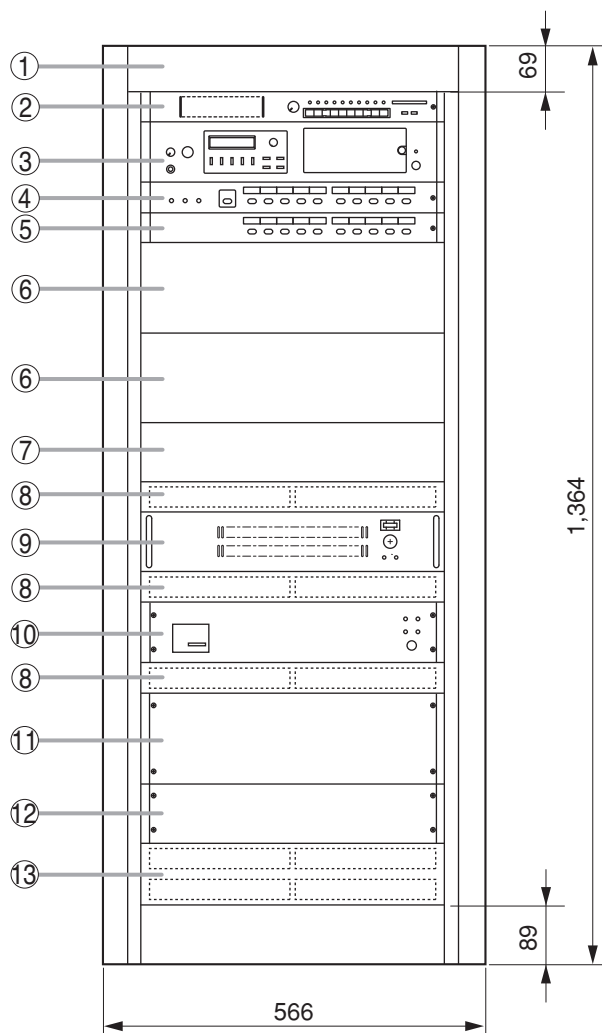
ご注意 グループ放送を行うには、RM-1100 および外部予備制御機器の場合はジャンクションパネル JP-034 にダイオードマトリックスボードキット DB-014（別売品）を組み込み、RM-200F の場合はリモートマイクインターフェースパネル RF-012 に DB-014 を組み込んで、それらのスピーカー選択スイッチをグループスイッチに設定してください。

ご注意

一斉放送やグループ放送の設定は、設備設置時に設定されています。
設定内容に関しては、設備の受け渡しの際に販売店にご確認の上、P. 22 の「設定内容記録表」に記録していただくようにお願いします。
また、設定内容を変更する場合は販売店にご相談ください。

外観図

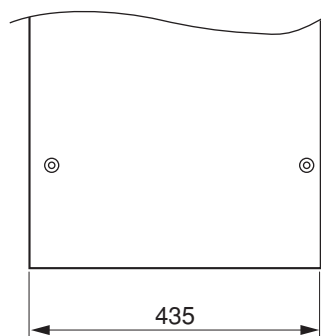
R27-1220RD 型



(正面図)

[機器構成]

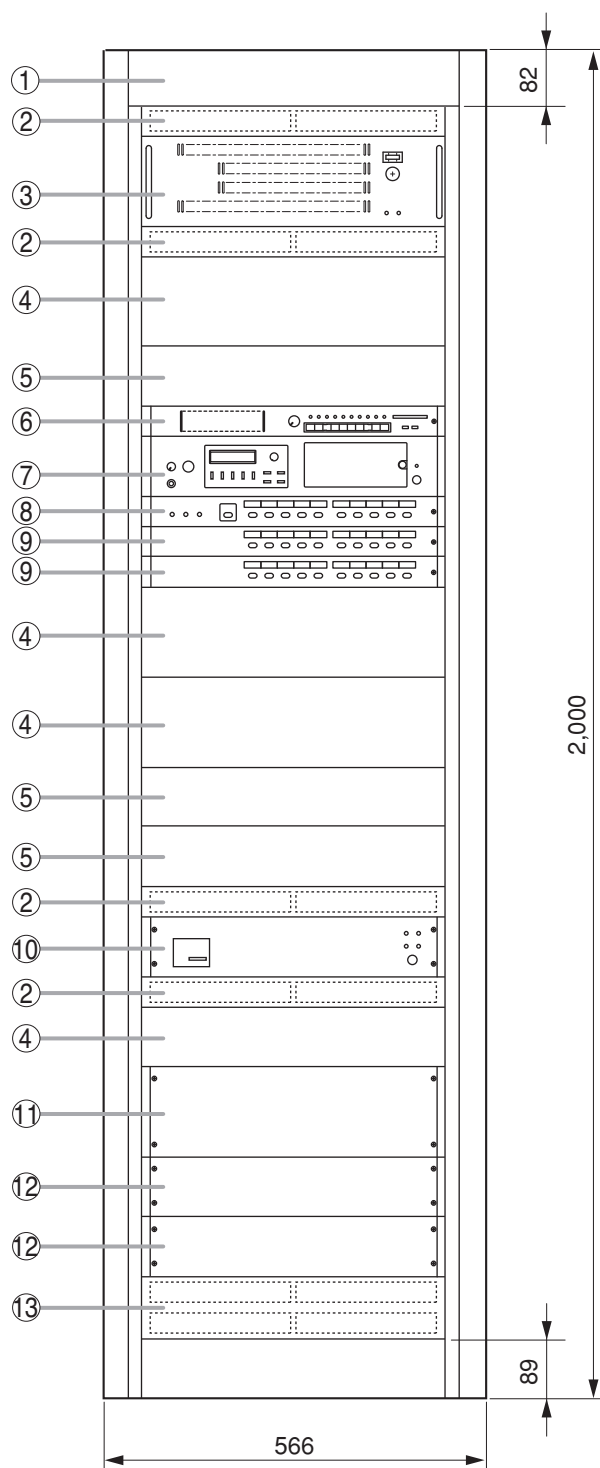
① キャビネットラック	CR-273
② モニターパネル	MP-011
③ プリアンプパネル (ラジオチューナーユニット DT-230 組込図)	PP-025C
④ スピーカーセレクトターパネル	SS-014
⑤ 増設用スピーカーセレクトターパネル	SS-015
⑥ ブランクパネル	BK-033B
⑦ ブランクパネル	BK-023B
⑧ パーフォレイテッドパネル	PF-013B
⑨ パワーアンプパネル	PA-1220
⑩ 非常電源パネル	DS-029
⑪ ジャンクションパネル	JP-034
⑫ 増設用ジャンクションパネル	JP-024
⑬ パーフォレイテッドパネル	PF-023B



(側面図)

単位：mm

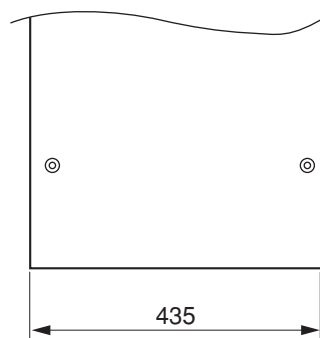
R41-3630RD 型



(正面図)

[機器構成]

① キャビネットラック	CR-413
② パーフォレイテッドパネル	PF-013B
③ パワーアンプパネル	PA-3630
④ ブランクパネル	BK-033B
⑤ ブランクパネル	BK-023B
⑥ モニターパネル	MP-011
⑦ プリアンプパネル	PP-025C
(ラジオチューナーユニット DT-230 組込図)	
⑧ スピーカーセクターパネル	SS-014
⑨ 増設用スピーカーセクターパネル	SS-015
⑩ 非常電源パネル	DS-029
⑪ ジャンクションパネル	JP-034
⑫ 増設用ジャンクションパネル	JP-024
⑬ パーフォレイテッドパネル	PF-023B



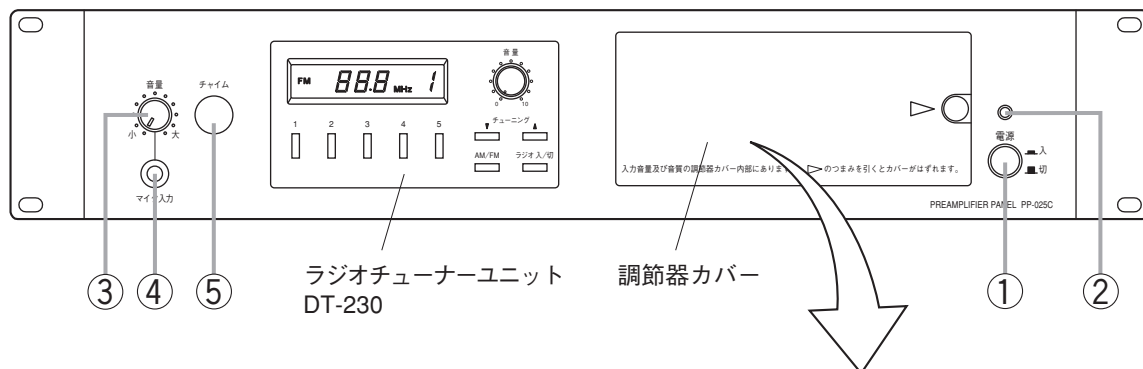
(側面図)

単位：mm

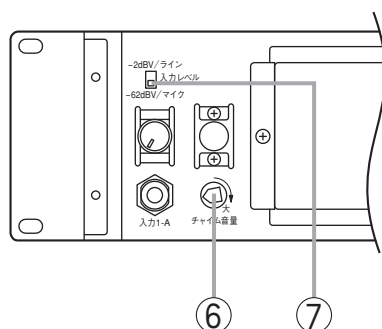
各部の名称とはたらき

■ プリアンプパネル PP-025C

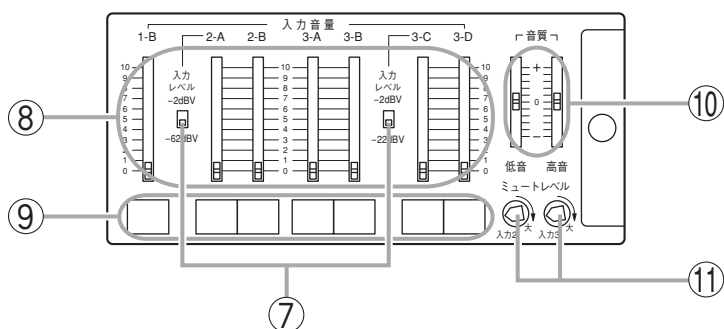
[前面] ※ 図は、PP-025C に別売のラジオチューナーユニット DT-230 を組み込んだものです。



● 前面パネル内部



● 調節器カバー内部



① 電源スイッチ

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

② 電源表示灯

電源を入れると点灯します。

③ マイク／ライン音量つまみ（入力1-A用）

入力1-Aの放送音量を調節します。
右に回すと、音量が大きくなります。

④ マイク／ライン入力ジャック（入力1-A）

マイクまたは外部機器からのホーンプラグを差し込みます。
入力レベル：-62 dB / -2 dB 切換式、600 Ω、平衡型

メ モ

- 後面にも入力1-A（入力1群 入力ホーンジャック）がありますが、このマイク／ライン入力ジャック④にホーンプラグを差し込むことにより、後面の入力1-Aが切れます。（前面の入力が優先）
- 入力レベルは、工場出荷時の -62 dB（マイク）から -2 dB（ライン）に切り換えることができます。切り換えは、前面パネルを外して、入力レベル切換スイッチ⑦で行います。

⑤ チャイムスイッチ

押すと、チャイム放送ができます。
チャイム音は入力1に接続されています。

⑥ チャイム音量調節器

チャイムの音量を調節します。

ご注意

外部チャイム使用時は、この音量調節器⑥を最小にしてください。

⑦ 入力レベル切換スイッチ

入力1-A、2-A、3-Cの入力レベルを切り換えます。

- 入力1-A：-2 dB / -62 dB
- 入力2-A：-2 dB / -62 dB
- 入力3-C：-2 dB / -22 dB

ご注意

放送中は触れないでください。
ノイズ発生の原因となります。

⑧ 入力音量調節器

各入力（1-B、2-A、2-B、3-A～D）の音量を調節します。入力2-Aと3-Cには、入力レベル切換スイッチ⑦があります。

メ モ

優先は、入力1＞2＞3の順になっています。

⑨ 入力表示ラベル貼付部

付属の入力表示ラベルを貼り付けてください。

⑩ 音質調節器

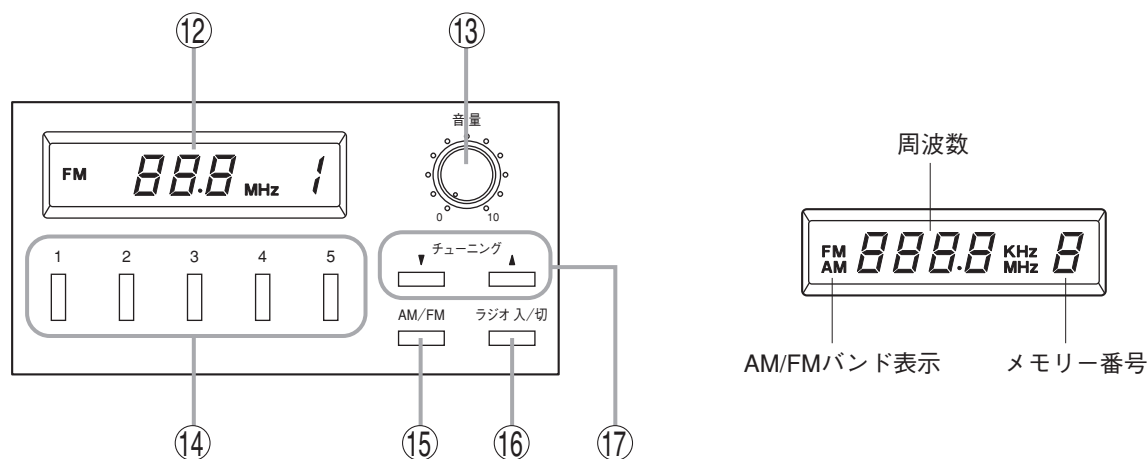
放送音質を調節します。

⑪ ミュートレベル調節器

優先順位の高いものの放送が入ったときのミュートレベル（減衰量）を調節します。

ご注意 放送中は触れないでください。
音量が不安定になります。

● ラジオチューナーユニット DT-230（別売品）



⑫ 周波数／メモリー番号表示部

AM/FM バンド、受信周波数、およびメモリー番号を表示します。この表示が消えているとき、ラジオは動作していません。

⑬ ラジオ音量つまみ

ラジオの音量を調節します。
右に回すと、音量が大きくなります。

⑭ メモリー／選局キー

AM、FM を各5局メモリーできます。
押すと、記憶されている放送局の周波数とメモリー番号が、周波数／メモリー番号表示部⑫に表示されます。
1.5 秒以上押し続けると、表示部⑫に表示されている周波数が記憶され、同時に記憶したメモリー番号も表示されます。

詳しくは、「受信周波数のメモリーのしかた」(P. 20)をお読みください。

⑮ AM/FM バンド切換キー

受信するバンドを切り換えるときに押します。
押すたびに、AM 放送と FM 放送が切り換わります。

⑯ ラジオ入／切キー

押すと、ラジオが動作し、周波数／メモリー番号表示部⑫の表示が現れます。

⑰ チューニングキー

放送局を選局するときに押します。
押すと、自動的に周波数が変化し、放送を受信するとその周波数で止まります。
希望する放送局と異なる場合は、もう一度キーを押してください。

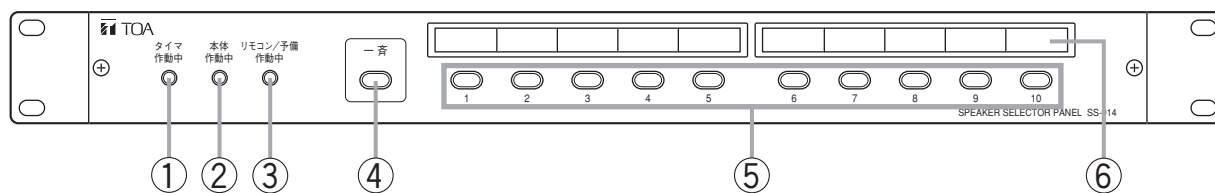
ラジオは、プリアンプパネル PP-025C の電源を「切」にする直前の状態を保持します。

(例) ラジオが「入」の状態、PP-025C の電源を「切」から「入」にすると、ラジオは「入」になり、電源を「切」にする直前に受信していた放送局の受信状態になります。

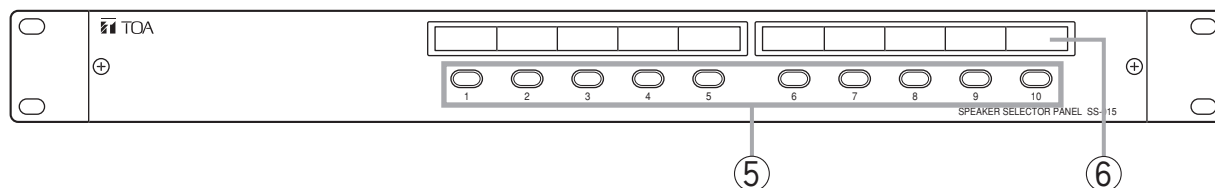
■ スピーカーセレクトターパネル SS-014/015

[前面]

SS-014



SS-015



① タイマー作動中表示灯 (SS-014 のみ)

タイマー機器による放送中に点灯します。

メ モ

タイマー機器による放送は、最優先です。通常一斉放送が緊急一斉放送のどちらかに設定されています。この表示灯が点灯中は、本機、リモコンおよび予備制御機器からの放送はできません。詳しくは、「タイマー一斉放送」(P. 5)をお読みください。

② 本体作動中表示灯 (SS-014 のみ)

本機のスピーカー選択スイッチ⑤、または一斉放送スイッチ④を押すと点灯して、放送ができます。ただし、タイマー作動中表示灯①が点灯しているとき、または本機より優先順位が高く設定されたリモコンや予備制御器が動作(リモコン/予備作動中表示灯③が点灯)しているときは、本機からは放送できません。

③ リモコン/予備作動中表示灯 (SS-014 のみ)

リモコンまたは予備制御機器からの放送中に点灯します。

④ 一斉放送スイッチ (SS-014 のみ)

本機から一斉放送するときに押します。一斉放送終了後は、もう一度このスイッチを押します。

⑤ スピーカー選択スイッチ

SS-014、SS-015 から個別放送するときに押します。放送終了後は、もう一度このスイッチを押します。

⑥ 記名カード

放送場所の名称を記入します。表のカバー(透明樹脂板)を外すと記名カードが取り出せます。

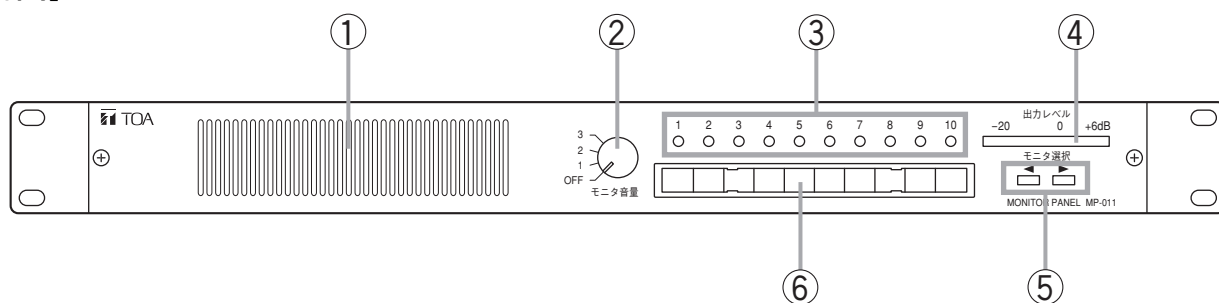
● グループ放送について

スピーカーセレクトターパネル SS-014 にダイオードマトリクスボードキット DB-014 (別売品) を組み込むと、スピーカー選択スイッチ⑤をグループスイッチに設定できます。グループが設定されている場合、ひとつのグループスイッチを押すと、複数の場所に放送できます。

詳しくは、「本体グループ放送」(P. 5)をお読みください。

■ モニターパネル MP-011

[前面]



① 放送モニター用スピーカー

各系統の放送内容をモニターします。

② モニター用音量つまみ

放送モニター用スピーカー①に出力されるモニター音量を調節します
4段階（OFF/1/2/3）に設定でき、数字が大きくなるほど音量が大きくなります。

③ モニター選択表示灯

放送モニター用スピーカー①に出力されている系統を表示します。

④ 放送出力レベル計

モニター選択表示灯③が点灯している系統の放送出力レベルを表示します。

メ モ

緑色の範囲内で使用することをお勧めします。

⑤ モニター選択スイッチ

放送モニター用スピーカー①に出力させる系統を選択するときに押します。

▶ スイッチを押すと系統番号が一つずつ繰り上がり、◀ スイッチを押すと繰り下がります。

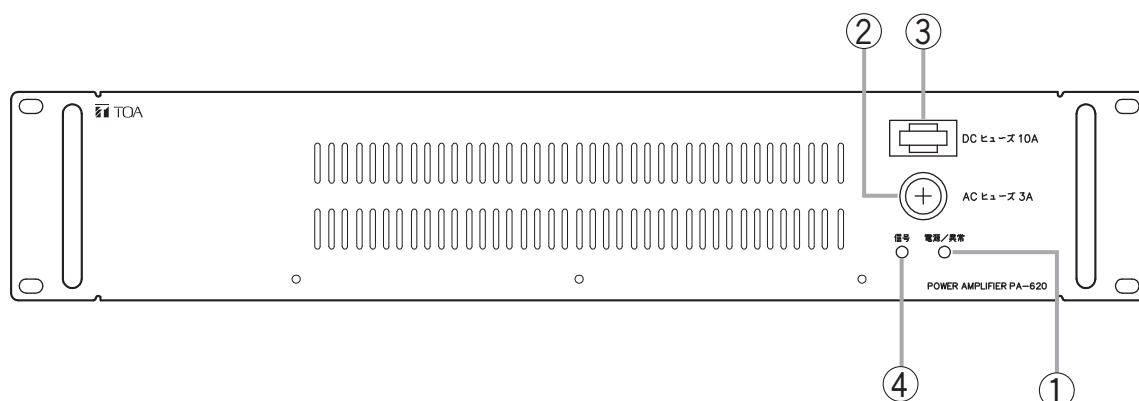
⑥ 記名カード

放送系統の名称を記入します。表のカバー（透明樹脂板）を外すと記名カードが取り出せます。

■ パワーアンプパネル PA-620/1220/2430/3630

[前面]

※ 図はPA-620です。



① 電源／異常表示灯

電源を入れると緑色に点灯します。

故障検出ユニット YA-1000A（別売）を組み込んだ場合、パワーアンプに異常が発生したときは、赤色に点灯します。

② ヒューズ（1次側）

③ ヒューズ（2次側）

各パワーアンプパネルに使用するヒューズ容量は下表のとおりです。

品 番	W 数	2 次側ヒューズ	1 次側ヒューズ
PA-620	60 W	10 A	3 A
PA-1220	120 W	15 A	5 A
PA-2430	240 W	30 A	10 A
PA-3630	360 W	40 A	15 A

ご注意

ヒューズを交換するときは、パワーアンプパネルの品番を確認して、ヒューズの容量を確かめてください。

各パワーアンプパネルに付属しているヒューズか、または当社指定のものをお使いください。

当社指定のヒューズについては、販売店までお問い合わせください。

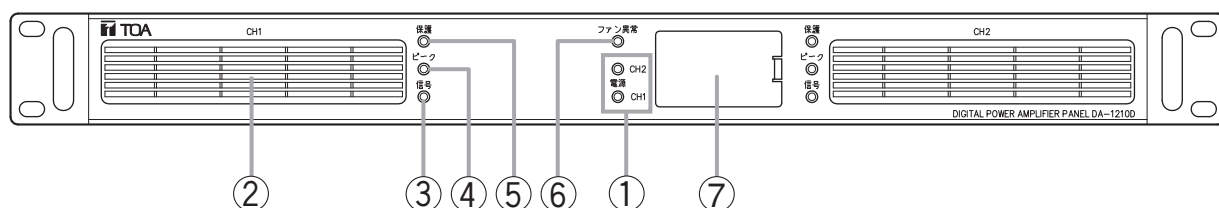
④ 信号表示灯

音声信号が入力されているときに点灯します。

■ デジタルパワーアンプパネル DA-1210D/2410/4820

[前面]

※ 図はDA-1210Dです。



① 電源表示灯

電源が供給されて、本機が正常に動作しているときに点灯します。

※ DA-1210Dの場合、各チャンネル（CH1、CH2）の電源表示灯があります。

② 通気パネル（通風口）

通気パネルの内側には、フィルターが付いています。フィルターの清掃は、通気パネルを取り外して行ってください。

③ 信号表示灯

約-20 dB*を超えるレベルの信号が入力されると点灯します。

* 0 dB = 1 V

④ ピーク表示灯

出力信号がクリップ（ひずみが発生）すると点灯します。

⑤ 保護回路作動灯

内部放熱板の異常温度上昇（100℃以上）、スピーカー出力の短絡時、またはスイッチカバー内のスイッチ位置が「切」のときに点灯します。なお、スピーカー出力の短絡時の保護回路は、短絡が解除されると、自動的に復旧します。

※ 電源投入時に一瞬点灯しますが、異常ではありません。

⑥ ファン異常表示灯

異物によるファンの停止などの異常な状態になると点灯します。

⑦ スイッチカバー

カバーを取り外すと、出力を入／切するスイッチがあります。電源が入った状態で操作できます。通常は「入」の位置に設定し、カバーを閉じて使用してください。カバーを開けた状態で使用すると、内部にほこりがたまり機器故障の原因となります。

● スイッチ位置「入」の場合

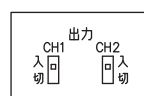
入力信号に応じて、接続しているスピーカーから音が出ます。（工場出荷時の設定）

● スイッチ位置「切」の場合

入力信号が入っている状態でも、接続しているスピーカーから音は出ません。このとき、保護回路作動灯が点灯し、異常出力端子はメイクします。

[カバー内部（通常時）]

DA-1210D

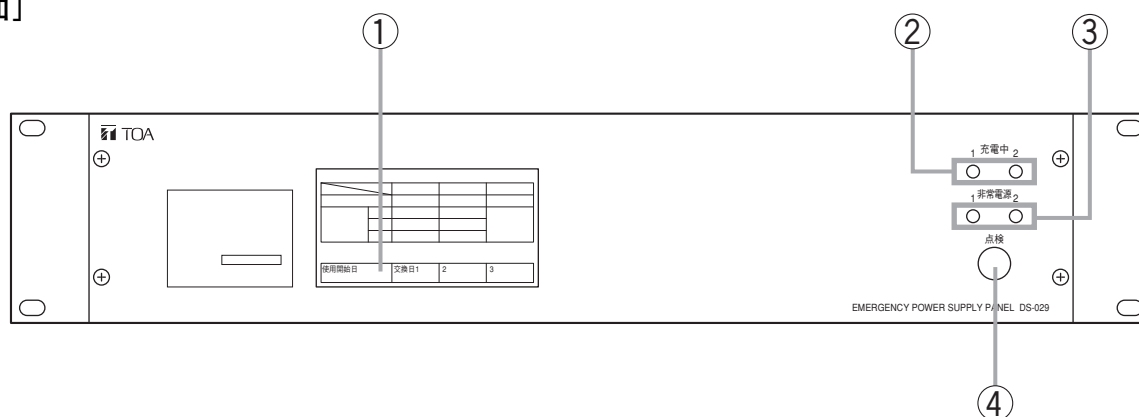


DA-2410/4820



■ 非常電源パネル DS-029

[前面]



① 蓄電池交換日記入ラベル

蓄電池の使用開始日、交換日を記入します。

ご注意

蓄電池の寿命は約4年ですが、使用条件により異なります。
非常時に機器を正常に動作させるために、必ず4年以内に交換してください。

② 充電中表示灯

蓄電池が充電状態にあるときに点灯します。
※ 蓄電池が接続されていないと点灯しません。

③ 非常電源表示灯

蓄電池の状態を以下のように表示します。

点灯時：十分に充電されています。

点滅時：十分に充電されていません。

消灯時：充電されていません。

この表示灯は点検ボタンを押したとき、および停電時に常用電源から非常電源に切り換わったときに機能します。

④ 蓄電池点検ボタン

蓄電池の状態を点検するときに押します。

ご注意

- 点検は毎日実施してください。
- 点検ボタンは10秒以上押さないでください。

点検については、「日常点検のしかた」(P. 20) をお読みください。

蓄電池の交換およびリサイクルについては、「ニカド電池の交換について」(P. 21)、「ニカド電池のリサイクルについて」(P. 4) をお読みください。

業務放送のしかた

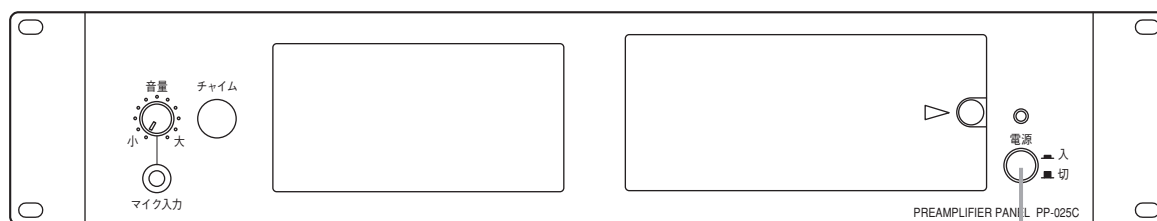
■ マイクロホンによる案内放送

ご注意

- プリアンプパネル PP-025C の入力 2-A、3-C の入力レベル切換スイッチおよび入力 2、3 のミュートレベル調節器は、機器設置時にあらかじめ調節されていますので触れないでください。
調節の必要があるときは、PP-025C に付属の取扱説明書をお読みください。
- プリアンプパネル PP-025C 前面のマイク／ライン入力ジャックにマイクのホーンプラグを接続した場合は、後面の入力 1-A に接続されている入力が切れます。
- プリアンプの制御が「連動」に設定されている場合は、プリアンプパネルおよびパワーアンプの電源が OFF でも、放送場所の選択スイッチを押すと自動的に ON になりますが、電源が入ってから放送可能な状態になるまで約 1 秒かかります。この間に放送すると、頭切れを起こす可能性があります。急いで放送したい場合は、まず本機の電源を入れる（パワーアンプの電源も連動して入る）ことをお勧めします。
- プリアンプの制御が「非連動」に設定されている場合は、初めにプリアンプの電源スイッチを入れないと放送できません。次に、放送場所の選択スイッチを押してください。

1 プリアンプパネル PP-025C の電源スイッチを押して (■)、電源を入れる。

プリアンプパネル PP-025C



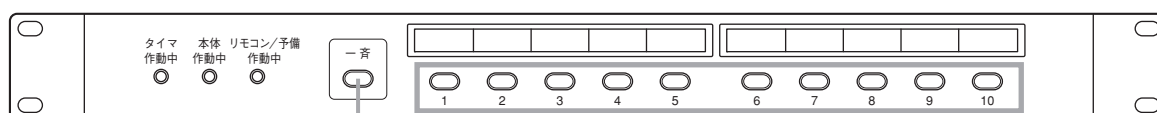
電源スイッチ

2 放送場所を選択する。

スピーカーセクターパネル SS-014 または SS-015 で操作します。
放送したい場所により、次のスイッチを押します。

一斉放送：一斉放送スイッチ
個別放送：スピーカー選択スイッチ

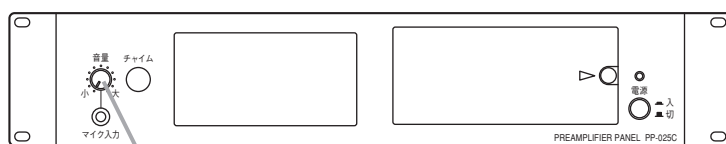
スピーカーセクターパネル SS-014



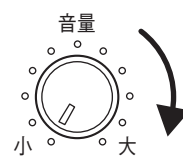
一斉放送スイッチ

スピーカー選択スイッチ

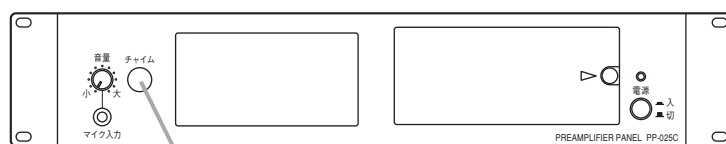
- 3** プリアンプパネル前面のマイク／ライン音量つまみで、マイクの音量を上げる。
右へ回すと、音量が大きくなります。



マイク／ライン音量つまみ



- 4** プリアンプパネル前面のチャイムスイッチを押す。
チャイム音が放送されます。

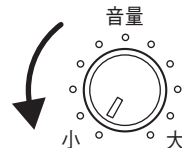


チャイムスイッチ



- 5** マイクで放送する。

- 6** 放送終了後、プリアンプパネル前面のマイク／ライン音量つまみでマイクの音量を下げる。
反時計方向いっぱいに戻します。



- 7** 放送場所を解除する。
スピーカーセレクトパネルで操作します。
手順2で選択した放送場所のスイッチをもう一度押します。

一斉放送：一斉放送スイッチ
個別放送：スピーカー選択スイッチ

- 8** プリアンプパネルの電源スイッチを押して (■)、電源を切る。



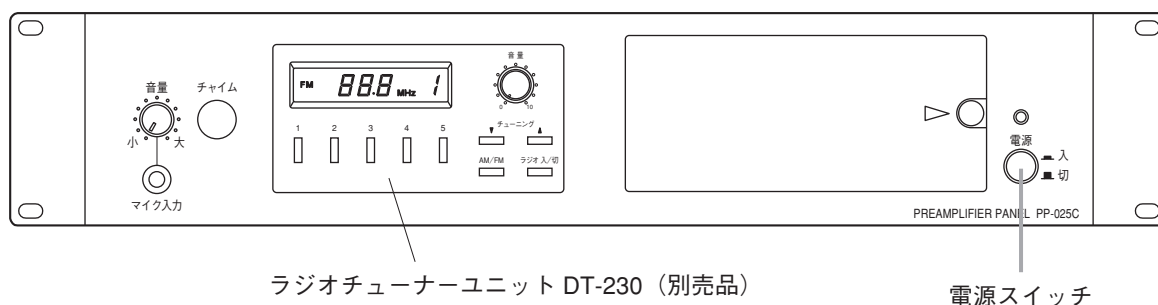
■ ラジオ放送のしかた（別売のDT-230 組み込み時のみ）

ご注意

- プリアンプパネル PP-025C の電源が入っていないと、ラジオは動作しません。
- ラジオの音声は、入力3に設定されています。
- ラジオは、プリアンプパネルの電源を「切」にする直前の状態を保持します。
（例）ラジオが「入」の状態、プリアンプパネルの電源を「切」から「入」にすると、ラジオは「入」になり、電源を「切」にする直前に受信していた放送局の受信状態になります。
- プリアンプパネル後面のラジオ入／切りリモート端子を接続している場合は、リモート接点が ON のときにラジオ入／切キー（ラジオチューナーユニット部前面）を押して、ラジオを動作状態にしておいてください。

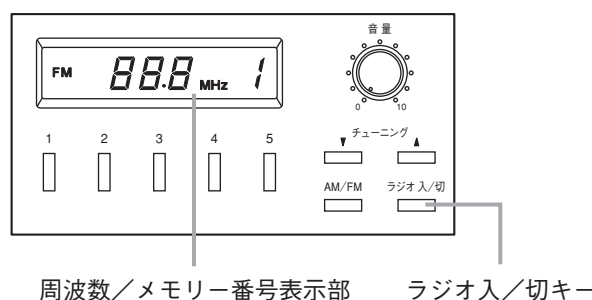
1 プリアンプパネル PP-025C の電源スイッチを押して (■)、電源を入れる。

プリアンプパネル PP-025C



2 ラジオチューナーユニット DT-230 のラジオ入／切キーを押す。

周波数／メモリー番号表示部が表示され、ラジオが動作状態になります。



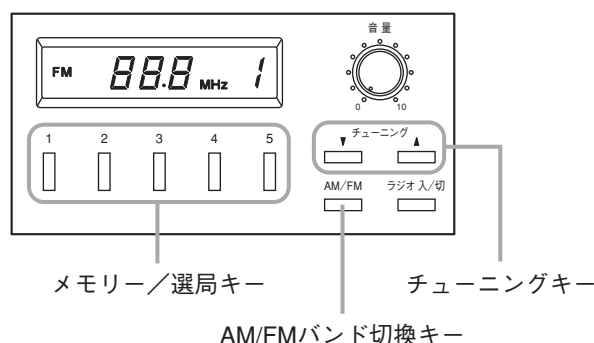
3 希望する放送局を受信する。

3-1 AM/FM バンド切換キーを押して、AM 放送か FM 放送かを選択する。

押すたびに AM/FM バンド表示が切り換わります。

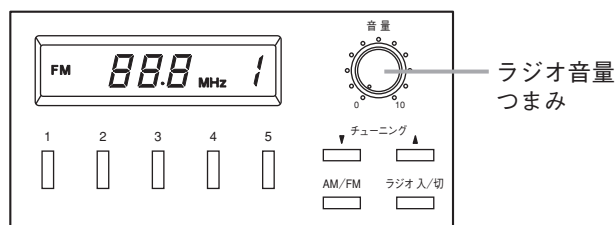
3-2 チューニングキーを押して、希望する放送局の周波数に合わせる。

メモ



- ▼キーを押すと、AM 放送は 9 kHz ずつ、また FM 放送は 0.1 MHz ずつ自動的に受信周波数が下がっていき、放送を受信すると止まります。選局中に再度 ▼キーを押すと、選局を中止します。
同様に ▲キーを押すと、AM 放送は 9 kHz ずつ、また FM 放送は 0.1 MHz ずつ自動的に受信周波数が上がっていき、放送を受信すると止まります。選局中に再度 ▲キーを押すと、選局を中止します。
- メモリーのしかたについては、「受信周波数のメモリーのしかた」(P. 20) をお読みください。

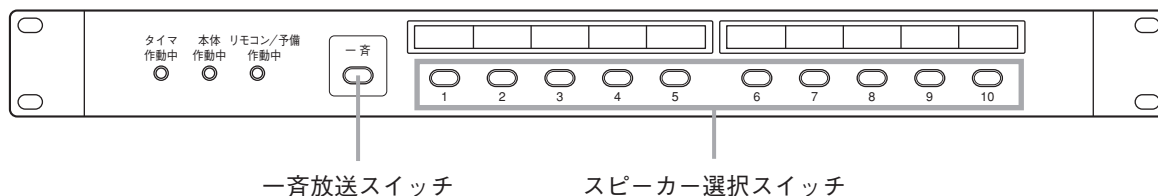
- 4** ラジオ音量つまみで、適切な音量に調節する。
モニターパネル MP-011 のモニタースピーカーで
試聴しながら、適切な音量に調節します。



- 5** 放送場所を選択する。
スピーカーセクターパネル SS-014 または SS-015 で操作します。
放送したい場所により、次のスイッチを押します。ラジオ放送が始まります。

一斉放送：一斉放送スイッチ
個別放送：スピーカー選択スイッチ

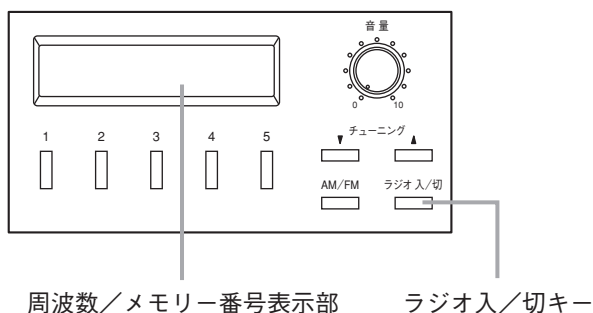
スピーカーセクターパネル SS-014



- 6** 放送を終了させるときは、放送場所を解除する。
スピーカーセクターパネルで操作します。
手順5で選択した放送場所のスイッチをもう一度押します。

一斉放送：一斉放送スイッチ
個別放送：スピーカー選択スイッチ

- 7** ラジオ入/切キーを押す。
周波数/メモリー番号表示部の表示が消え、
ラジオが切れます。



- 8** プリアンプパネルの電源スイッチを押して (■)、電源を切る。



● 受信周波数のメモリーのしかた

AM放送で5局、FM放送で5局、別々に周波数を記憶させることができます。
記憶させた周波数は、そのメモリー／選局ボタンを押すだけで呼び出すことができます。
※ 電源が供給されなくても、メモリーの内容は約7日間保持されます。

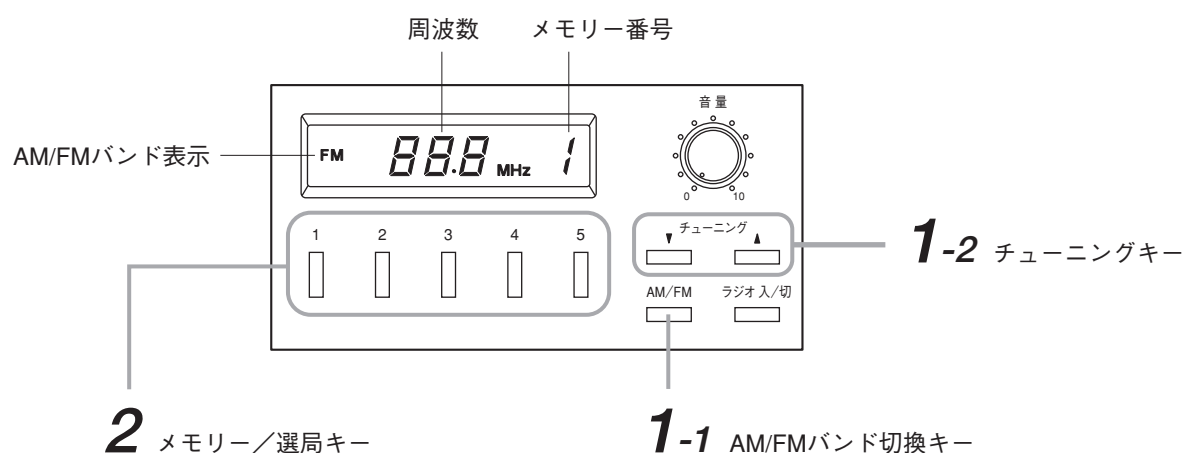
1 記憶させたい放送局の周波数に設定する。

1-1 ラジオチューナーユニットのAM/FMバンド切換キーを押して、AM放送かFM放送かを選択する。

押すたびにAM/FMバンド表示が切り換わります。

1-2 チューニングキーを押して、希望する放送局の周波数に合わせる。

2 記憶させたいメモリー／選局キーを、表示部にメモリー番号が表示されるまで押す。 約1.5秒押し続けると、表示されます。

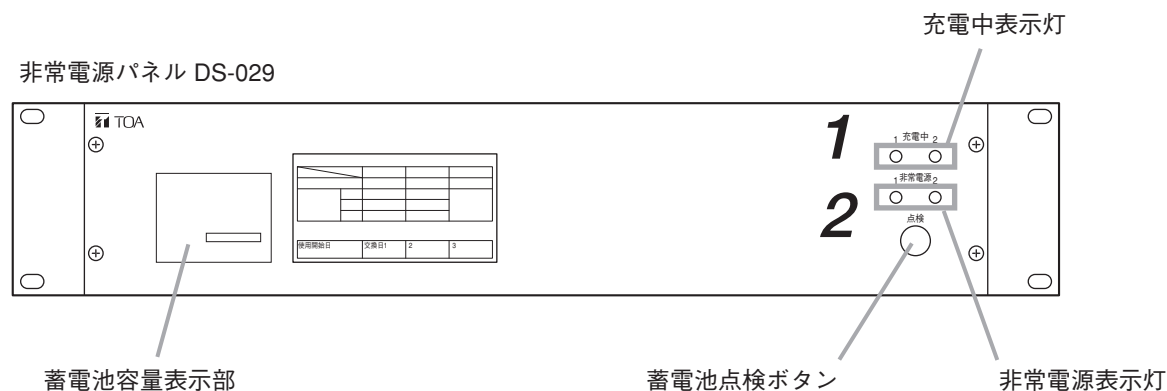


日常点検のしかた

非常電源パネル DS-029 が組み込まれている場合、万一のときに機器が正常に動作するように、日常点検を必ず実施してください。

※ 日常点検は機器の動作の一部のみを点検するものです。必ず定期点検も実施するようにしてください。

● 非常電源パネル DS-029 による電源電圧の確認



ご注意

点検ボタンは10秒以上押さないでください。

1 充電中表示灯が点灯していることを確認する。

- ※ 蓄電池が接続されていないと充電中表示灯は点灯しません。
- ※ 前面に表示されている蓄電池の容量が3.5 Ahまたは6 Ahのときは、蓄電池の接続は1本のみとなっていますので充電中表示灯の点灯は1つのみとなります。

2 蓄電池点検ボタンを押し、非常電源表示灯が点灯することを確認する。

- ※ 蓄電池が接続されていないと非常電源表示灯は点灯しません。
- ※ 前面に表示されている蓄電池の容量が3.5 Ahまたは6 Ahのときは、蓄電池の接続は1本のみとなっていますので非常電源表示灯の点灯は1つのみとなります。

以上の点検で異常が見つかった場合は、ただちに販売店または保守契約店へご連絡ください。

ご注意

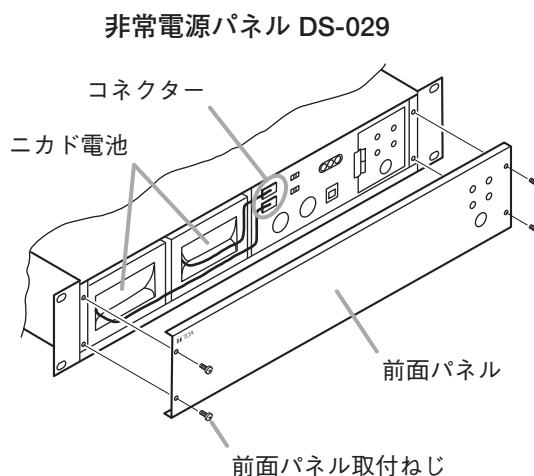
- 蓄電池の寿命は使用条件により異なりますが、約4年となっています。
使用開始日または交換日の欄を確認し、4年以上経過している場合は、ただちに蓄電池を交換してください。
- 蓄電池の交換およびリサイクルについては、「ニカド電池の交換について」（次項目）、「ニカド電池のリサイクルについて」（P. 4）をお読みください。

ニカド電池の交換について

⚠ 注意

- ニカド電池を、ショート・分解・加熱・火の中に入れるなどしないでください。
- 取り出したニカド電池は、ショート防止のために、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を行ってください。
- 乾電池など、ニカド電池以外の電池を混入しないでください。
- ニカド電池を交換するときは、下表に指定したものをご使用ください。

ニカド電池	蓄電池容量
NDC-2435	3.5 Ah
NDC-2460	6 Ah



1 蓄電池のコネクターを取り外します。

2 蓄電池収納スペースから蓄電池を取り外します。



ニカド電池のリサイクルにご協力ください

使用済みのニカド電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

設定内容記録表

● グループ、一斉放送

設定内容記録表			緊急 設定	スピーカ－選択スイッチ																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
● グループ、一斉放送																							
タイマー（一斉）																							
本体 グループ	一 斉 放 送																						
	1		/																				
	2		/																				
	3		/																				
	4		/																				
	5		/																				
	6		/																				
	7		/																				
	8		/																				
	9		/																				
	10		/																				
リモコン ／予備・ グループ （RM1100）	一 斉 放 送																						
	1		/																				
	2		/																				
	3		/																				
	4		/																				
	5		/																				
	6		/																				
	7		/																				
	8		/																				
	9		/																				
	10		/																				
リモコン （RM200F） グループ	一 斉 放 送																						
	1		/																				
	2		/																				
	3		/																				
	4		/																				
	5		/																				
	6		/																				
	7		/																				
	8		/																				
	9		/																				
	10		/																				
	11		/																				
	12		/																				
	13		/																				
	14		/																				
	15		/																				
	16		/																				
	17		/																				
	18		/																				
	19		/																				
	20		/																				

スピーカ－選択スイッチ																													
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

タイマー（一斉）																													
本体グループ	一斉放送																												
	1																												
	2																												
	3																												
	4																												
	5																												
	6																												
	7																												
	8																												
	9																												
	10																												
リモコン／予備・グループ	一斉放送																												
	1																												
	2																												
	3																												
	4																												
	5																												
	6																												
	7																												
	8																												
	9																												
	10																												
リモコン（RM-200F）グループ	一斉放送																												
	1																												
	2																												
	3																												
	4																												
	5																												
	6																												
	7																												
	8																												
	9																												
	10																												
	11																												
	12																												
	13																												
	14																												
	15																												
	16																												
	17																												
	18																												
	19																												
	20																												

● プリアンプ（PP-025C）制御

連動	非連動

● 優先順位

順位		
1	タイマー	タイマー
2	リモコン (RM-200F)	リモコン (RM-200F)
3	本体 (ラック)	リモコン (RM-1100) / 予備
4	リモコン (RM-1100) / 予備	本体 (ラック)

● 優先放送時の入力信号のカット

起動機器	カットなし	入力3カット	入力2、3カット
タイマー			
リモコン (RM-200F)			
本体 (ラック)			
リモコン (RM-1100) / 予備			

● リモコン (RM-1100) 間 (RM-1100の接続台数 台)

優先の種類	先着	個別*1	優先なし

*1 個別優先のときの優先順位

順位	設置場所
1	
2	
3	
4	
5	

● リモコン (RM-200F) 間 (RM-200Fの接続台数 台)

優先の種類	先押	後押	個別*2	優先なし

*2 個別優先を選択したときは、RM-200FのアドレスNo.の小さい順に優先度が高くなります。

順位	アドレス No.	設置場所
1	0	
2	1	
3	2	
4	3	



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター

商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)

フリーダイヤル **0120-108-117**

ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)

FAX 0570-017-108 (有料)

※ PHS、IP 電話からはつながりません。

最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>